

**令和7年度第1回
地方独立行政法人佐世保市総合医療センター及び地方独立行政法人北松中央病院評価委員会**

議 事 要 旨

【日 時】 令和7年9月24日(水)18:31 ～ 20:00

【場 所】 TV 会議(佐世保市中央保健福祉センター5階 健康危機管理オペレーション室)

【出席者】 委員6名(1名欠席)

〈事務局〉早田保健所長、八木次長、守主査

〈佐世保市総合医療センター〉神崎副理事長、南川副院長兼事務部長、寺松事務部次長、中元経営企画課長、古里経営企画課長補佐、徳永財務課長補佐

〈北松中央病院〉東山理事長兼院長、富本事務部長、前田看護部長

◆評価委員会各委員の主な意見・質疑

■議題1 佐世保市総合医療センター令和6年度の業務実績評価

■議題2 佐世保市総合医療センター第3期中期目標期間の業務実績評価

■議題3 佐世保市総合医療センター令和6年度の公立病院経営強化プラン点検・評価

【意見】

令和6年度の業務実績評価(案)、第3期中期目標期間の業務実績評価(案)、令和6年度の公立病院経営強化プラン点検・評価(案)の修正等が必要となるような意見はなし。

【質疑等】○質問 ●回答

医療従事者の確保について【古賀委員】

○資料5の35ページに「医療従事者の確保」があり、「概ね計画通り」となっている。

これだけ盛りだくさんの事業等をしていただく上において、特に医師、看護師、薬剤師は地域偏在があり、地方では不足しているということをよく耳にするが、達成状況から見て、概ね充足しているという形で解釈していいのか？

●運営を行う上においては確保できているが、薬剤師についてはまだ不足しているかなという形で、随時確保を行っている。看護師は7対1のところは確保しているが、今後、SCUも検討しているので、随時、確保等を進めているところである。(南川事務部長)

三次救急件数について【三原委員】

○①資料5の10ページ「救命救急患者搬送件数」の「救急車・ヘリ件数」が3,509件となっているが、このうち、救命救急センターが担われている三次救急の件数はどのぐらいなのか？

②「救急車・ヘリ搬送以外の受入件数」は、開業医の先生方の紹介やウォークインを含めて全部なのか？

●①三次救急の数として特に公的な資料として出していないが、このうち6割くらいが入院されており、救命救急センター評価として国(厚生労働省)に出している件数は945人である。(南川事務部長)

②そういうことになる。救急車以外の受入件数になるので紹介を含めた数である。(南川事務部長)

あじさいネットカルテ閲覧数・がん相談件数の推移について【橋本委員】

○①資料5の7～8ページ「あじさいネットカルテ閲覧件数」が前年度から増加はしているが、宇久診療所での医師2,038回を引いた場合は、令和4年度からすると1,000件ほど減っている状況をどのように分析されているか？

②12ページのがん相談件数が令和4年度の879件から1,030件と増えてはいるが、令和5年度からすると150件ほど減少しているのは、どのような要因が考えられるか分析をされているか？

●①あじさいネットカルテは医療機関の先生方が見ていただくという形になっているので、ある一定の先生が集中して見ていただくようになると閲覧件数が上がってくる形になる。今回は、宇久の先生は増えたが、他の医療機関は減少したという現象かなと思う。（南川事務部長）

②がんの相談件数に関しては、最初は相談窓口が玄関入って右の方にあり、そこで集中的に相談を受けていたが、がん拠点の指針等が少し変わり、緩和ケアセンターとがん拠点の相談のところを少しまとめたというところがあり、場所の変更を少ししている。それで患者さんの流れが少し変わったというところで減少したというところがあったが、今は配置の方もきちっとできており、相談件数も元に戻ってきているような状況と思っている。（寺松次長）

経営改善の取組について【事務局】

○今回の評価とは直接は関係していないが、昨年10月の評価委員会の中で、古賀委員の方から、経営改善に向けた取組で駐車場料金の見直し等も考えられないのかといったご提案・ご意見があったと思っているが、本年7月から駐車料金を見直しをされているので、そのあたりを総合医療センターからご説明いただければと思う。

令和7年度からの事業になっているので、令和6年度の評価に直接繋がるものではないが、そういった状況変化もあるので、ご紹介させていただければと思っている。（八木次長）

●駐車場料金であるが、院内の経営改善プロジェクトの中で色々検討した結果として、従来は、患者さんを3時間無料で長時間の患者さんも無料にしていたが、7月1日から30分100円、上限300円ということで料金をいただき、また、この料金をいただくために、病院の駐車場も老朽化しているので、こういうところに財源として将来的に充てさせていただこうということで、改善をしている。

駐車場料金を上げることにに関して、患者さんの方から色々な苦情等も含めて来るだろうということで、2ヶ月以上前から、毎回来られる度にご説明等をしており、特に大きな苦情は今のところない。

収益の方に関しても、来年の報告になるかと思うが、かなり貢献している。（神崎副理事長）

経営改善の取組について【安部委員】

○今、大学病院とか大きな病院が非常に経営的に赤字になっているという中で、57ページに若干であるが外来収益が増加したとある。その他、一般的に人件費や材料費の高騰があるが、色々な工夫があったのか？

●先程ご説明差し上げた通り、こういった経営状況の悪化を受け、院内で経営改善プロジェクトを設置されている状況である。当初10億弱ぐらいの赤字を見込んでいたが、こういったプロジェクトを立ち上げた結果として、収支改善も少し見られ、今回ご報告している6億4,000万ぐらいまでの赤字にとどめることができたという状況がある。その中身については、総合医療センターからご説明を差し上げていただければと思う。（事務局八木次長）

●経営改善プロジェクトを立ち上げたのが11月から12月にかけてというところで、収支状況を何とか改善していこうという目的の中で立ち上げた。病院長主導のもと、病院の中で、各部署からこういった内容で改善ができるのか、病院として今後どういう進め方をしていくのか、その方針を考えたというところで進めていったものになっている。

委託費に関してもっと何とかならないか、診療報酬でリハビリ等改善できることはないか、そういった各項目ごとに分科会を立ち上げて進めていったところになる。

令和7年度も継続して行っているが、入院に関しては病床の稼働を上げるために在院日数の適正化を特に強力に進めているところであり、ある程度の結果を見られたんじゃないのかと考えている。

そういった収益の改善、費用の減少を令和6年度終わり頃から7年度にかけて、現在も含めて取り組んでいる。
(徳永財務課長補佐)

●先程、安部委員から大学病院等の経営状況のお話があった。大学病院もそうだが、軒並み公立病院もかなりの割合で赤字になっている状況があり、そういったところを含めて、各団体等から国に要望をされている状況もある。そうした中で来年度が診療報酬改定年度に当たるので、人件費や物価高騰がどう反映されるのかを注視していく必要があるかと思っている。前回も見ていただいているようではあるが、なかなか追いついてない。それ以上に人件費も上がり、物価も上がっているという状況の中で、各医療機関・病院が特に経営状況が厳しくなっている状況があるので、そこは注目してもらいたいと思っている(事務局八木次長)。

財務内容の改善について【橋本委員長】

○①資料5の58ページ「第4 財務内容の改善に関する事項」の評価では、AまたはB評価となっており、計画を上回って達成、概ね計画どおりとなっている。一方で、資料6の3ページ「公立病院経営強化プラン点検・評価書」の収支状況を見ると、令和6年度は計画より大きく赤字が拡大しているようである。この2つをあわせると、赤字は拡大したが財務内容は改善していると見て取れると思うが、これは先程から出てきている経営改善プロジェクトが功を奏しているという理解でいいのか？それとも何か他の要因があるのか？

②赤字解消に向けて様々な取組をされているということだが、今後の収支見通し、どの時点の黒字化を見込まれているのか教えていただきたい。

●①先程から述べております経営改善プロジェクトが功を奏してきているという状況もあるので、令和6年度としては改善しているという評価にはなっている。(南川事務部長)

②今後の見通しは、今年度は6億の赤字、来年度は4億の赤字を見ている。ただ、こういう中においても、昨年度から引き続き経営改善プロジェクトを行って、院内で一丸となって入院患者様の増加等も頑張っておりますので、何とかこの赤字幅を減らしたいということで、黒字になれば幸いであるが、何とか、赤字を少しでも減らしていきたいということで、今一体で取り組んでるところである。(神崎副理事長)

■議題4 北松中央病院令和6年度の業務実績評価

■議題5 北松中央病院第7期中期目標期間の業務実績見込評価

■議題6 北松中央病院令和6年度の公立病院経営強化プラン点検・評価

【意見】

令和6年度の業務実績評価(案)、第7期中期目標期間の業務実績見込評価(案)、令和6年度の公立病院経営強化プラン点検・評価(案)の修正等が必要となるような意見はなし。

【質疑等】○質問 ●回答

地域との連携について【三原委員】

○資料8の48ページに、地域医療機関との連携があるが、地理的な状況からは、佐世保市以外の佐々町や平戸市とか松浦市といった県北の医療機関もあるが、その辺とはどういう連携をされているのか教えていただきたい。

●地域の医療機関とは勉強会等で交流を図りながら、患者さんの紹介や逆紹介については電話で話をしながら行っている。あとは地域連携室から、佐世保市周辺にはなるが江迎・鹿町等の地域から紹介を受けたりしている。(東山理事長)

医療従事者の確保について【古賀委員】

○人材は概ね充足していると捉えていいと思うが、看護関係の従事者の確保数が少ないように見受けられるが、それについてのご意見と、何か施策があればご披露いただければと思うが。

●看護師は令和7年度は8人ぐらい確保できており、今のところは充足している。現在、確保もそうだが離職をさせないということで、ライフワークバランスも含めて検討している。多分、他の病院に比べて離職は結構少ない。また、1回辞められた看護師に来ていただくことも結構あるので、そういう所で力を入れている。

ただ、最近は事務職を募集してもなかなか来ない。地域柄人が減っている。看護師は比較的今のところはいいが、他のところで苦労している。中小企業は全体的にそうだと思う。（東山理事長）

財務内容の改善について【橋本委員長】

○佐世保市総合医療センターにもお尋ねしたが、資料9の3ページ「公立病院経営強化プラン点検・評価書」の収支を見ると、計画より赤字が拡大しているということで、赤字解消に向けて各種取組をされていると思うが、今後の収支見通しについて教えていただきたい。

●収支の見通しは現状であれば極めて厳しい。うちの病院自体は外来は透析患者が多いので、地域に暮らされている数が減ってきて、導入が多いが、残念ながら導入はこの病院には通ってなくて、地域の透析施設に通っているということで、この病院に通える地域に透析患者がいない。透析患者としてはコロナ前と比べて20人ぐらい減っているが、一般的な外来に関してはコロナ以前よりもかなり増えている。

収支改善を頑張りながら入院も増やしている途中だが、診療報酬改定を待つという状況だと思う。これは多分どの病院も一緒だと思う。支出の方は、委託料も材料費も上がる中で、新規の医療機器をできるだけ長く使えるように職員に指導している。（東山理事長）